

日本保育学会編

「保育学年報」

一九六二年版について

津守 真

このたび、日本保育学会の編集により保育

学年報が創刊され、一九六二年版がフレール館より出版された。幼児関係の仕事の正しい発展を願うものにとつては、大へんうれしいことである。どのような分野でも、実際が

発展するには、その背後に研究的な分野が発展しなくてはならない。そしてそれが多くの優れた人たちの関心と興味をひくにたえるものになってゆかねはならないのであると思う。幼児保育、幼児教育の分野についても同様であつて、従来、たいせつだと言われながらも、感情的には一段程度の低い仕事とみなされがちであつたが、その状態をのり切つてより高めてゆくには、研究的分野の発展が非常にたいせつなのである。幼児によい環境と経験を与えることは、個人にとつても、家庭にとつても、社会全体にとつても大きな意味をもつものである。そして、この幼児をめぐる問題は、人間科学の一環としてみる時にも、実に興味深い多くの研究課題を提示している。発達、人間形成をめぐつて、家族関係、家庭保育をめぐつて、現場の保育過程、

集団過程、教育内容をめぐつて、精神衛生、治療過程をめぐつてなどなど、どんな新らしい課題がさらにつけ加えられてゆくか予測できないが、いずれも、現代の学問体系の中で重要な役割をになう問題である。このような事情を考えるときに保育学年報の発刊は意義深いものがある。

さて、一九六二年版の年報の内容は、第一部から第四部に分け、第一部で、日本保育学会第十五回大会報告の抄録が収載されている。これは、従来「幼児の教育」誌に、毎年九月号に掲載してきたものである。第二部以下はこの年報の特色であつて、編集委員の苦勞があらわれており、非常に役に立つものである。第二部保育関係文献目録は、昭和三十六年四月〜三十七年三月発行の保育雑誌、関連学術誌、単行本の集成である。外国文献もふくんでおり、内容的にも中が広くてよい。第三部では、遊具、スライト、紙芝居、絵本のリストで、定価や製作所まで載つていて、これも前例のない集成である。その他、保育関係団体、養成機関のリストおよび諸統計があり、第四部では、日本保育学会の歴史などが特集されている。幼児保育界の現況を知るのにも好適である。保育学年報の発刊をお祝いするとともに、これから毎年、長く続くように切望している。

（フレール館発行
定価六〇〇円送料一〇〇円）

幼児の教育 第六十二巻 第七号

七月号 © 定価六〇〇円

昭和三十八年六月二十五日 印刷

昭和三十八年七月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレール館

振替口座東京・九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレール館にお願いたします。